



2007. 8. 2~3 中頓別で自然に慣れる

おもしろ探険隊は8月2日・3日、緑濃い中頓別町を訪れました。
森づくりは自然への挑戦。なら、まずは大自然のふところに飛び込んで、自然に慣れようというわけ。
台風の影響であいにくの雨。でも子どもたちはめげず元気いっぱい自然と遊んできました。



中頓別鍾乳洞の遊歩道で落をみつけた子どもたちは
さっそく傘の代わりに



雨の中、埋蔵金を求めて砂金掘りに挑戦。
子どもたちは真剣に『金』を探していますが成果は？
・・・うーん難しい。



蛍観察、クワガタ探しへと子どもたちは夜の自然を満喫。
そして、お楽しみの花火大会にスイカ割り。
男の子はスイカを手づかみで...完食!!



2日目はカヌーで川くだりを体験!!



2007. 8. 7 「子どもの森」予定地(稚内市沼川)へ



さて、いよいよ子どもたちはこれから自分たちが
作る森の予定地にやってきました。

あたり一面の笹原。中に入るのををためらって
いる大人を尻目に子どもたちはズンズン笹の中に
分け入っていきます。思うように進むことができな
いので、子どもたちから「まずここに一本道をつけ
たい」というアイデアが出ました。笹原の向こう側
の道路に到達する頃には、子どもたちの手足に擦
り傷ができていました。半そで、短パンの子ども
たちは衣服で体を守ることを身をもって勉強したよ
うです。



前号のしうヴィわつかないでご紹介したおもしろ探険隊
では、今年度、(社)国土緑化推進機構の「平成19年度
多様なテーマの森づくり企画支援事業」の採択を受けて、
「子どもたちが主体となる子どもたちのための子どもの森
づくり」事業を行いました。

その活動と、「子どもの森」の壮大な野望を紹介します。